

# 6月議会 市民目線での論戦に全力

## 上野議員、ひがし幼稚園移転問題を追及

### 文教経済常任委員会の審議

10日に行われた文教経済常任委員会では、市立ひがし幼稚園が、園舎の耐震診断の結果、地震による倒壊や崩落の危険が高いとして、全園児を市立高田幼稚園の建物に移し、そこを間借りして運営することについて審議されました。

この問題では、2006年度に判明していた耐震診断の結果が、今になって突然伝えられたことで、保護者からは憤りの声が上がっています。

上野議員は、「どうしてもっと早く保護者に説明しなかったのか」という点をはじめ、「現在、ひがし幼稚園だから通える、あるいは徒歩で通っているという子の通園をどうするのか」「幼稚園と保育園では入園の資格に差異があるが、希望によっては、近くの保育園への転園が可能になるように手立てを講じることはできないか」「来年の入園希望者にどう伝えるのか」といった点を追及しました。

教育部長は、保護者への説明で不十分な点があったことを認めながらも、転園については、あくまでも他の公私立幼稚園を優先しながら考えていくという姿勢であることを明らかにしました。



## DBO方式前提の債務負担行為設定は不适当 新クリーンセンター建設事業で平良木議員主張

### 厚生常任委員会の審議

6日に行われた厚生常任委員会の審議では、新クリーンセンターの建設にあたって、民間事業者が20年にわたって業務を委託することから、債務負担行為(将来の公費の支払いの約束)を設定する予算提案が行われました。

新クリーンセンターは、現在のクリーンセンターの老朽化に伴って、市民生活にとつてどうしても必要なものですが、それを設計、建設、運営のすべてにわたって民間事業者に任せてしまう方式(DBO方式)にするという計画です。

ごみ処理は生活に密着したものであり、運用に支障があつてはならないだけに、行

政が責任を持つて運用すべきです。また、ごみの減量化を図らなければならぬ時代にあつて、今後ごみ処理事業も縮小していきますが、民間事業者がそうした縮小事業になじむのか、また、全体として本当にコスト削減になるのかなど、問題も少なくありません。

そうした民間委託方式はきわめて問題であるとして、平良木議員はこの設定に反対しました。

同委員会では、このほかにも、こども医療費助成での手

続き簡素化、小規模多機能住宅介護施設一箇所へのスプリングクラー設置の補助などが審議されました。

また、国による生活保護基準の「見直し」では、五月末に一定の詳しい内容が示されたことが明らかになりました。



## —自治基本条例—「全国水準で良いものにするという姿勢を」 総務常任委員会で橋爪議員が主張

総務常任委員会では11日、新幹線新駅の昇降施設等の工事契約、安塚・頸城・吉川・三和の各区の防災行政無線戸別受信機設置工事契約などの議案が審議されました。

橋爪議員は、防災行政無線受信機設置工事について、聴覚障がい者がわかるように文字表示付き受信機の設置を検討するよう迫りました。野口副市長は検討を約束しました。

所管事務調査では、自治基本条

例の検証をめぐって審議が行われました。この問題では、今年3月、議会として、社会情勢の変化や自治活動の進展をもとに、全会一致で条例の一部改正などを行政側に提言していました。ところが、行政側は条例改正に関してはすべて必要ないと回答してきたのです。

橋爪議員は、「この条例は、全国水準にたつてよりわかりやすく、より良いものにしていくという立

場で検証すべきだ。その視点ではどのような議論をしてきたのか」「出資法人等に関してはこの5年間に様々なことがあつた。議会や監査委員からも指摘があつた。なぜ追加しないのか」などとただしました。

これに対して行政側は、「当初からその視点で議論してきている。上越市にとって、変更するほどの社会情勢の変化がなかったので不変更とした」などと答えました。

**日本共産党上越市議員団ニュース**  
No.368 2013年6月16日

連絡先  
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

**さようなら原発 6.29上越集会**  
柏崎刈羽原発 再稼働を許さず、廃炉へ!  
とき 6月29日(土)午後2:00~(集会)  
3:30~(パレード)  
ところ リージョンプラザ上越コンサートホール